実力対策 歴史総合
基本1

教科書p. 5-220　　　学習日　　月　　日

名　前　　　　　　　　得点　　／　　点

1

人類の出現と日本列島

●人類のはじまり

もっとも古い人類である**猿人**(えんじん)は，400 万年ほど前に〔　　　　　〕にあらわれた。　アフリカ

猿人の祖先は森の木の上でくらしていたが，気候の変化などで森がへると，草原で食物をさがすようになった。やがて**うしろあし(足)で立って歩く(直立二足歩行)**ようになり，自由になった前あし(手)で〔　　　〕をつくるようになった。　道具

●打製石器(だせいせっき)

猿人はそのうち，石を打ちくだいてするどい刃をもった〔　　　〕石器を使って，木の実や草の根をとり，動物をとらえたりした。　打製

打製石器を使い，**狩り**や**採集**をしていたこの時代を〔　　　　〕時代という。　旧石器

●新人の登場

今から 100 万年ほど前から，地球は〔　　　〕時代になり，陸地の多くが氷河(ひょうが)でおおわれる寒い氷河期と，温暖な時期がくり返されていた。きびしい環境のなかでも人類は少しずつ進化し，猿人のあとに登場した原人は，**火を使う**ことも覚え，**言葉**も用いるようになった。　氷河

今から 10 万年ほど前に，現在の人類の直接の祖先である〔　　　〕があらわれ，世界じゅうに広がっていった。　新人

●旧(きゅう)**石器時代の日本列島**

大陸と地つづきだった氷河期の日本列島には，〔　　　　　〕象などの大型動物を追って人類もやってきていた。　ナウマン

⇒長野県の野尻湖で大型動物の化石が発掘された。

このころの地層から人骨の化石も見つかっていることから，日本列島でも〔　　　　〕時代の人類が生活していたことがわかっている。　旧石器

⇒群馬県の岩宿(いわじゅく)遺跡の発見により，日本にも旧石器時代があったことが確認された。

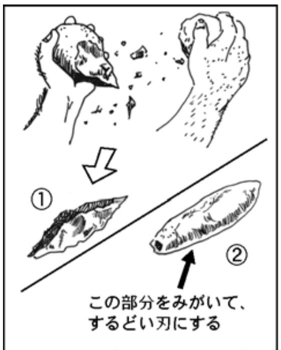
2

文明の発生と東アジア世界

●新石器時代

約**1万年前**に氷河時代が終わり，現代とほぼ同じ気候になると，木の実，貝や魚など食べものがふえ，粘土(ねんど)を焼いた〔　　　　〕器がつくられるようになった。 土

道具も，打製石器から石をみがいてつくる〔　　　　〕石器に進歩した。 磨製



打製石器(①)と磨製石器(②)

●文明のはじまり

アジアやアフリカの大河のほとりでは〔　　　　〕や牧畜が発達し，大きな国家ができるようになり，文明がおこった。　⇒エジプト，メソポタミア，インダス(インド)，中国 農耕

●中国の古代文明

紀元前16世紀(1500年代)ごろ〔　　　　〕の流域に**殷**(いん)という国がおこり，青銅器や漢字のもとになった**甲骨文字**(こうこつもじ)がつくられた。 黄河

殷のあと**周**(しゅう)がおこったが，やがて中国は多くの国が争う戦乱の時代(**春秋**(しゅんじゅう)**・戦国**(せんごく)**時代**)となった。農業や商業が発達し，**孔子**(こうし)の説く〔　　　　〕教が広まった。 儒

●中国文明の変化

紀元前３世紀，〔　　　　〕の**始皇帝**(しこうてい)が戦乱を統一した。秦(しん)はすぐほろんだが，かわった〔　　　　〕が朝鮮(ちょうせん)半島北部や中央アジアまで領土を広げた。 秦 漢

〔　　　　　　　　〕とよばれる西方との交通路も開かれ，インドでおこった〔　　　　〕が中国に伝えられた。 シルクロード 仏教

●朝鮮の成長

紀元前後に朝鮮半島北部から北にかけて〔　　　　　〕が中国の支配を脱して成立。南部では百済(ペクチェ)(くだら)と新羅(シルラ)(しらぎ)がおこった。 高句麗

3

日本の成り立ち－縄文文化と弥生文化

●日本列島の誕生

約〔　　　　〕万年前，氷河時代が終わり，海水面が上昇し，**日本列島**ができた。

気候が暖かくなったことで森林が広がり，食用になる木の実やけものがふえた。

1

●縄文(じょうもん)土器

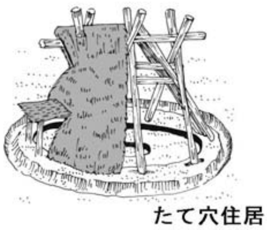
狩り，漁や採集で得た食料の保存や煮たきのために**土器**がつくられた。縄目(なわめ)の文様がつけられたことから〔　　　　　〕土器とよばれている。また打製石器のほかに〔　　　　　〕石器も使うようになった。

⇒この時代を縄文時代といい，紀元前４世紀ごろまで１万年以上もつづいた。

縄文，磨製

●たて穴住居

人々は共同で食料をつくり，地面に穴を掘(ほ)り屋根をつけた〔　　　　　　〕住居に住んだ。当時のごみ捨て場であった〔　　　　　〕からは，土器のかけらや**土偶(どぐう)**が出土する。



たて穴住居

たて穴

貝塚

●弥生(やよい)文化の成立

紀元前４世紀，大陸から〔　　　　　〕が伝わり，北九州からしだいに東日本まで広まった。

人々は，水田の近くにむらをつくって住み，**たて穴住居**の近くには，収穫した稲をたくわえるための**高床(たかゆか)の倉庫**もつくった。土器も上質の〔　　　　　〕土器がつくられた。

⇒本格的に農業がはじまったこの時代を弥生時代といい，紀元後３世紀くらいまでつづいた。

稲作

弥生

●青銅器(せいどうき)や鉄器が伝わる

稲作とともに，**青銅器**や**鉄器**などの〔　　　　　　　〕も伝わった。

青銅器の銅鐸(どうたく)・銅鏡(どうきょう)や銅剣(どうけん)は祭りの道具として使われ，鉄器は武器のほか，農具や舟などをつくる工具として使われた。

金属器

4

国々の誕生と古墳文化

●「むら」から「くに」に

稲作が進むと，社会のなかに貧富による〔　　　　　〕の差が生まれた。やがて小さな**国**ができ，人々を支配する**豪族(ごうぞく)**や**王**があらわれた。紀元前後のころ〔　　　　　〕とよばれた日本には，100 余りの国があったと，中国の歴史書に書かれている。

身分

倭

●邪馬台国(やまたいこく)と女王卑弥呼(ひみこ)

１世紀の中ごろに，倭(わ)の**奴国(なこく)**の王が漢に使いを送り，皇帝から〔　　　　　〕を授かる。

３世紀には，日本の〔　　　　　　　〕国の**卑弥呼**という女王が，30 余りの国をしたがえていたことが，中国の魏(ぎ)の国の歴史書(「**魏志(ぎし)**」**倭人伝(わじんでん)**)に書かれている。

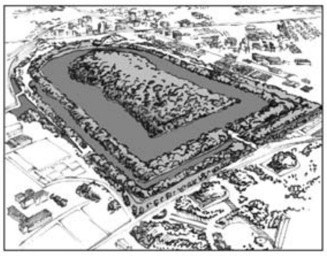
金印

邪馬台

●前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)と大和(やまと)政権

３世紀末，奈良(なら)盆地を中心とする地域に強大な勢力(**大和政権，ヤマト王権，大和王権**)が生まれ，〔　　　　　　　　　　　〕とよばれる大きな墓(**古墳(こふん)**)がつくられた。

⇒大和政権(王権)の政府を大和朝廷，支配者を，中国では倭王，日本では大王(おおきみ)とよんでいる。



前方後円墳

⇒大阪府堺(さかい)市の大仙(だいせん)(大山)古墳(仁徳陵(にんとくりょう)古墳)は，代表的な前方後円墳。

前方後円墳

●古墳時代と古墳文化

これ以後，古墳がさかんにつくられた６世紀までの 300 年間を古墳時代という。古墳のまわりには，人物，家，馬などの形の〔　　　　　　　〕が置かれた。

はにわ

5

大王の時代

●大王の時代と中国・朝鮮

大和政権(ヤマト王権，大和王権)の王は，九州から東北地方南部の豪族たちを従え〔　　　　〕とよばれるようになった。　**大王**

大王は，中国の皇帝に倭の王として認めてもらうために，たびたび使いを送った。

朝鮮半島では，北部の高句麗(こうくり)と南部にあった新羅(しらぎ)と〔　　　　〕の３国がたがいに勢力を争っていた。　**百済**

⇒百済と新羅にはさまれた伽耶(加羅，任那)の国々は，大和政権とのつながりを利用して，両国に対抗した。

●大陸文化と渡来人

日本と朝鮮南部との交流が進み，朝鮮から日本に移りすむ〔　　　　　〕もたくさんいた。彼らによって製鉄，かんがい，織物などの技術をはじめ，**漢字**，**儒教**などの思想も伝えられた。６世紀半ばに〔　　　　〕を伝えたのも渡来人である。　**渡来人**　**仏教**

6

大化の改新への道のり

●中国の大帝国の出現と日本

中国では６世紀の末に〔　　　　〕が統一，７世紀になると〔　　　　〕が登場。　**隋，唐**

唐は〔　　　　〕などの法律を整え，強力な政治のしくみをつくりあげた。　**律令**

朝鮮半島では，百済(くだら)や新羅(しらぎ)が力をまし，日本(大和政権)は半島での勢力を失う。

国内では豪族たちの争いが絶えず，渡来人と結んだ〔　　　　〕**氏**が大きな権力をもった。　**蘇我**

● 聖徳太子の政治

このような時期に，女帝の推古天皇の摂政となった〔　　　　　　　〕(厩戸皇子)は蘇我馬子と協力して政治改革を進めた。　**聖徳太子**

⇒身分に関係なく能力のある人を登用するため**冠位十二階の制度**をつくり，仏教や儒教の考えを取り入れた〔　　　　　　　　〕を定めて役人の心得を示した。外交では，中国に使いをつかわし(〔　　　　　〕)，政治のしくみや文化を取り入れようとした。　**十七条の憲法，**　**遣隋使**

⇒聖徳太子の時代は，政治の中心が奈良盆地南部の飛鳥地方にあったため，この時代を飛鳥時代という。

●大化の改新

聖徳太子の死後，蘇我氏は勢力を強めた。645年，**中大兄皇子**と**中臣鎌足**らは蘇我氏をたおし，〔　　　　　　　　〕とよばれる，唐にならった政治改革を進めた。　**大化の改新**

豪族が支配していた土地と人々を国のものとし(〔　　　　　　　〕)，天皇がそれを支配するという方針を打ちだした。　**公地公民**

7

律令国家の成立

●白村江の戦いと壬申の乱

朝鮮半島では，新羅(しらぎ)が唐と結んで百済(くだら)・高句麗(こうくり)をほろぼし，やがて唐の勢力も追い出して，朝鮮半島を統一。この戦乱で日本は百済を助けるため大軍を送ったが，〔　　　　　〕**の戦い**で，唐と〔　　　　〕の連合軍に敗れ，半島から完全に退いた。　白村江　新羅

この後，天智天皇(中大兄皇子)は，全国の〔　　　　〕をつくるなど，改新の政治を進めた。天皇の死後，皇位をめぐって〔　　　　〕**の乱**がおこった。　⇒壬申の乱に勝った**天武天皇**は，さらに改新政治をおし進めた。　戸籍　壬申

●大宝律令と平城京

701年，唐の律令にならって〔　　　　　　　〕がつくられ，天皇を中心とする新しい国家のしくみが定められた。法律(律令)にもとづいて国をおさめようとした国家を〔　　　　〕国家という。　⇒律は刑罰のきまり，令は政治のきまり。　大宝律令　律令

710年，奈良に，唐の都長安にならって，新しい都〔　　　　　〕がつくられた。　平城京

平城京(奈良)に都があった70年余りを〔　　　　〕時代という。　奈良

●都と地方

平城京は，広い道路によって，ごばんの目のように区画された。市も開かれ，さまざまな産物が売買され，〔　　　　〕開珎という貨幣も発行された。　和同

地方には，中央の貴族を〔　　　　〕として派遣し，地方の豪族を郡司に任命した。　国司

東北地方の政治・軍事の拠点として〔　　　　〕城(宮城県)を設けた。　多賀

九州には〔　　　　　〕(福岡県)をおき，政治や外交などを担当させた。　大宰府

⇒天皇を中心とする朝廷により，統一国家のしくみが整えられた。

8

奈良時代の人々のくらし

●税に苦しむ農民

律令のもとで人々は，良民(公民)と，奴婢などの低い身分の賤民に分けられた。

６年ごとにつくられる戸籍に登録された**６歳以上**のすべての人々は〔　　　　　　〕の法によって，**口分田**があたえられ，その人が死ぬと国に返すことになっていた。　班田収授

農民は，**租**をはじめ〔　　　〕・〔　　　〕などの重い税や，兵役の義務もあった。　調，庸

兵士のなかには〔　　　　〕として，九州の防衛に送られる者もいた。　防人

⇒租は稲の収穫の約３％を納める，調は各地の特産物を，庸は労役のかわりに布(麻布)を納めるもので，調と庸は農民が都まで運ばなければならなかった。

●口分田が不足し開墾(私有地)が進む

このころ，農村では鉄製の農具が広まり，稲の収穫がふえてきた。しかし，農民は重い税の負担などから，農地をすてて逃亡するものも多くなった。また，人口が増え，口分田が不足してきたため，政府は開墾を進めるため〔　　　　　　　　　　〕**法**を出し(743年)，新しく開墾した土地は，永久に私有することを認めた。　墾田永年私財

この結果，貴族や寺院と地方の豪族(郡司)は，開墾を進め，私有地を広げていった。

9

国際的な文化の開花

●日本最初の仏教文化

７世紀初め，**聖徳太子**(しょうとくたいし)や**蘇我**(そが)氏は，仏教を広めようとしたので，都のあった**飛鳥**(あすか)地方(奈良(なら)盆地南部)を中心に，仏教をもとにした文化(〔　　　　〕文化)がおこった。　飛鳥

聖徳太子が建てた〔　　　　　　〕はじめ，そこにある仏像，工芸品などには，中国はじめ〔　　　　　　　〕やギリシャなどの文化の影響もみられる。　法隆寺　西アジア

●国際的な天平(てんぴょう)文化

政府は，中国の制度や文化を取り入れようと，遣隋使(けんずいし)につづいて〔　　　　　〕使もたびたび唐(とう)に送ったので，平城京では，仏教と唐の影響を受けた文化が栄えた。　遣唐

この文化は，**聖武天皇**(しょうむ)の天平年間に最も栄えたので，〔　　　　〕**文化**とよばれる。　天平

天皇は，仏教の力によって国家を守ろうと，国ごとに〔　　　　　　〕**寺**と国分尼寺(こくぶんにじ)を，都には〔　　　　〕**寺**を建て，金銅の大仏をつくらせた。　国分　東大

遣唐使が持ち返り，東大寺の**正倉院**(しょうそういん)に残されている道具や楽器のなかには，西アジアやインドから伝わったものもある。

●歴史書と「万葉集(まんようしゅう)」

国家のしくみが整ってきた８世紀には，〔「　　　　　　」〕や「**日本書紀**」などの歴史書や，地方の地理や伝承(でんしょう)などを記した「**風土記**(ふどき)」がつくられた。　古事記

また，天皇や貴族から民衆までの和歌を集めた〔「　　　　　　」〕が編集された。　万葉集

⇒日本語の音を漢字であらわす万葉がなが使われた。

10

平安京と摂関政治

●平安京と東北地方

794 年，**桓武天皇**(かんむ)は政治を一新するため，都を〔　　　　〕**京**(今の京都市)に移した。　平安

⇒鎌倉幕府が成立するまでの約 400 年間を〔　　　　〕時代とよんでいる　平安

天皇は，**坂上田村麻呂**(さかのうえのたむらまろ)を**征夷大将軍**(せいいたいしょうぐん)として蝦夷(えみし)の住む〔　　　　〕地方に派遣(はけん)，支配を広げた。　東北

●摂関(せっかん)政治

都では，〔　　　　〕氏の勢力が強くなり，摂政(せっしょう)，関白(かんぱく)という職について，天皇にかわって政治をおこなった。これを〔　　　　〕**政治**という。　藤原　摂関

摂関政治は，11 世紀前半の**藤原**〔　　　　〕と，その子頼通(よりみち)のとき最も栄えた。　道長

藤原氏は，朝廷(政府)の役職を一族でしめ，国司のおくり物や〔　　　　〕とよばれる私有地からの収入で，はなやかな生活を送った。　荘園

地方の政治は国司にまかせられたが，不正をおこなう国司も多く，治安は乱れていった。

11

文化の国風化

●新しい仏教－最澄(さいちょう)と空海(くうかい)－

都が平安京に移ったころ，遣唐使とともに唐に渡った**最澄**と**空海**は，仏教の新しい宗派を伝えた。　〔人名　　　　〕　比叡山(ひえいざん)の延暦(えんりゃく)寺で〔　　　　〕**宗**を広めた　　最澄，天台

〔人名　　　　〕　高野山(こうやさん)の金剛峯寺(こんごうぶじ)で〔　　　　〕**宗**を広めた　　空海，真言

●遣唐使の停止

摂関(せっかん)政治が始まった９世紀，中国では唐の勢力がおとろえ，長くつづいていた〔　　　　　〕の派遣が停止された。　⇒菅原道真(すがわらのみちざね)の進言による。　　遣唐使

中国…唐のあと〔　　　〕が中国を統一。朝鮮半島…高麗(コリョ)(こうらい) が国をたてた。　　宋

●国風文化

唐との正式の国交がなくなったことなどから，日本の生活や風土にあった文化が発達した。これを〔　　　　〕**文化**とよぶ。　　国風

⇒漢字をくずした平がな，漢字のへんなどを使った片かなの〔　　　　〕**文字**ができた。　　かな(仮名)

紀貫之(きのつらゆき)らが編集した「**古今**(こきん)**和歌集**」，〔　　　　　　　〕の「源氏(げんじ)物語」，　　紫式部

〔　　　　　　　〕の随筆「**枕草子**(まくらのそうし)」。　　清少納言

⇒貴族の住居である寝殿造(しんでんづくり)，日本独自の大和(やまと)絵が生まれた。

●浄土(じょうど)へのあこがれ

社会が乱れてくると，念仏(ねんぶつ)を唱えて阿弥陀仏(あみだぶつ)にすがり，死後に極楽(ごくらく)浄土に生まれ変わることを願う〔　　　　〕**信仰**が流行した。　⇒京都府宇治(うじ)市にある平等院鳳凰堂(びょうどういんほうおうどう)　　浄土

12

武士の成長

●武士の登場と荘園(しょうえん)

地方の豪族(ごうぞく)は開墾(かいこん)を進めて〔　　　　〕とよばれる広い私有地をもつようになった。　　荘園

土地をめぐる争いなどから，豪族たちは〔　　　　　〕とよばれる戦う集団をつくった。　　武士団

武士の成長を支えたのは**荘園**であった。武士は開発した領地を，税を免除(めんじょ)される特権をもつ中央の貴族たちに寄進(きしん)し，自分は〔　　　　〕となって実際の荘園の支配者として勢力を広げていった。　　荘官

10 世紀の中ごろ，関東で〔　　　　　〕が，西国で藤原純友(ふじわらのすみとも)が反乱をおこした。　　平将門

●武士の成長と院政

武士のなかから，地方の反乱をしずめた**源氏**と〔　　　　〕が有力となった。　　平氏

平安時代の末になると，藤原氏による摂関政治から，退位した天皇(上皇)が政治を行う〔　　　〕が始まった。　　院政

院政の実権をめぐる争いから〔　　　　〕**の乱**と**平治**(へいじ)**の乱**がおこった。　　保元

この内乱に勝った〔　　　　　〕が，武士としてはじめて政治の実権をにぎった。　　平清盛

13

武家政治のはじまり

●平氏政権と源平合戦	
平清盛は〔　　　　〕大臣になり，一族は高い官職につき広大な荘園を支配した。	太政
また，中国の〔　　　　〕との貿易にも力を入れ，兵庫の港(神戸市)を整備した。	宋
源〔　　　　〕が東国の武士を結集して挙兵，弟の義経は壇ノ浦で平氏をほろぼした。	頼朝
●鎌倉幕府の成立	
源頼朝は対立した義経をとらえる口実で，国ごとに〔　　　　〕，荘園や公領に**地頭**をおいた。さらに平泉の奥州藤原氏をほろぼし，東北地方まで支配下においた。	守護
1192 年，頼朝は征夷大将軍になり，〔　　　　〕**幕府**とよばれる武士の政治を始めた。	鎌倉
将軍と主従関係で結ばれた武士(**御家人**)は，**御恩**として新しい領地をもらったり，領地の支配を認めてもらうかわりに，将軍のために命がけで戦う〔　　　　〕をした。	奉公
●執権政治と承久の乱	
頼朝の死後，**北条氏**が幕府の実権をにぎり，〔　　　　〕という地位を独占した。	執権
後鳥羽上皇は幕府をたおそうとして兵をあげたが失敗した。(〔　　　　〕**の乱**)	承久
乱後，幕府は京都に〔　　　　〕**探題**をおき，朝廷や西国の武士を監視した。	六波羅

14

武士と民衆の動き

●武士と地頭	
武士は荘園の簡素な屋敷で，ふだんは下人や〔　　　　〕を使って農業を営みながら，いつも戦いにも備えていた。	農民
〔　　　　〕は，荘園や公領(朝廷の土地)の農民を支配し，力を強めていった。農民は荘園や公領の領主に納める年貢だけでなく，地頭の要求にしたがってさまざまな労役なども負担しなければならなかった。	地頭
●武士の生活	
武士は，いつも武芸によって心身をきたえていた。⇒〔　　　　　　〕の道	もののふ（弓矢）
一族は，〔　　　　〕が中心になって，子や兄弟たちを統率し，団結していた。	惣領
領地は，〔　　　　〕相続であり，女子にもあたえられた。	分割
1232 年，執権の北条泰時がつくった〔　　　　　　　　〕(貞永式目)は，こうした武士の社会での慣習をもとに定められたもので，長く武家政治の手本となった。	御成敗式目
●農民のくらし	
牛馬の利用，鉄製農具の普及，肥料に草木の灰の利用が進み，農業が発展した。	
また，米と麦の**二毛作**がはじまり，商品として売る商品作物の栽培もはじまった。各地に〔　　　　〕**市**も開かれるようになった。	定期

15
鎌倉時代の宗教と文化

●新しい仏教

浄土信仰を進め，法然(ほうねん)は〔　　　　〕宗，親鸞(しんらん)は**浄土真宗(じょうどしんしゅう)(一向宗(いっこう))**を広めた。 | 浄土

⇒浄土真宗(一向宗)は，室町時代になると蓮如(れんにょ)の布教活動によって，各地にひろまり，信仰で結びついた集団をつくりあげた。

日蓮(にちれん)は，法華経(ほけきょう)の題目(だいもく)を唱えれば，人も国家も救われると説いた。

⇒〔　　　　〕宗(法華宗) | 日蓮

宋から帰った栄西(えいさい)や道元(どうげん)によって〔　　　　〕も伝えられた。 | 禅宗

⇒とくに栄西の開いた禅宗(臨済(りんざい)宗)は幕府によって保護された。道元の開いた禅宗(曹洞(そうとう)宗)は，地方の武士のあいだにひろまった。

●武士の台頭と文化の新しい動き

金剛力士像

武士の時代を背景にした，素朴(そぼく)で力強い文化が発展した。

東大寺の南大門や，そこにある**運慶(うんけい)**らによる彫刻

⇒〔　　　　　　〕像 | 金剛力士

武士の活やくをえがいた軍記物〔「　　　　　　　　」〕は琵琶法師(びわほうし)によって語られた。 | 平家物語

後鳥羽(ごとば)上皇が中心になって編集した〔「　　　　　　　集」〕。 | 新古今和歌

また鴨長明(かものちょうめい)の「方丈記(ほうじょうき)」や，吉田兼好(よしだけんこう)の「徒然草(つれづれぐさ)」などの随筆集も書かれた。

16
モンゴルの襲来と日本

●モンゴル帝国の拡大

13 世紀，チンギス＝ハンとその子孫は，ユーラシア大陸にまたがる大帝国をつくった。５代目のフビライ＝ハンは，都を大都(だいと)(北京(ペキン))に移し，国号を〔　　　　〕とした。 | 元

フビライは，中国の南部を支配していた〔　　　　〕もほろぼし，中国全土を支配した。 | 宋(南宋)

●二度の元の襲来(しゅうらい)(元寇(げんこう))

元軍と戦う武士のようす

朝鮮半島の高麗(コリョ)(こうらい)を従えた〔　　　　　　〕＝ハンは，服従しようとしない日本を，二度にわたって攻めてきた。この二度の元軍の襲来を〔　　　　〕という。 | フビライ / 元寇

●鎌倉幕府の滅亡

元軍と戦った鎌倉幕府の御家人たちには，恩賞としてあたえられる土地がなかった。

御家人たちは，領地の〔　　　　〕**相続**によって，生活が苦しくなっていた。 | 分割

御家人を救おうとして，幕府は**徳政令(とくせいれい)**を出すが，経済が混乱し，かえって幕府への反感が強まる。

⇒徳政令…売ったり質流れになったりした土地を，もとの持ち主にただで返させるという法令。

このようすをみて〔　　　　　〕天皇は，幕府を倒そうとした。一度は失敗し，隠岐(おき)島に流されたが，楠木正成(くすのきまさしげ)や足利尊氏(あしかがたかうじ)らが加わり，幕府は 1333 年滅亡。 | 後醍醐

17

南北朝の動乱と東アジア

●南北朝の動乱

鎌倉幕府の滅亡で，**後醍醐(ごだいご)天皇**を中心とする政治がはじまる。⇒〔　　　　〕**の新政**	建武
公家重視の政治に，〔　　　　〕**尊氏**が立ち上がり，新政は２年余りで失敗。	足利
尊氏は京都に新しい天皇(北朝)を立て，後醍醐天皇の〔　　　　〕と対立した。	南朝
〔　　　　〕年にもおよぶ**南北朝**の内乱の過程で，守護が大きな権限をもつようになった。　⇒〔　　　　〕**大名**の登場	60 守護

●東アジアの変動

このころ中国では，漢民族がモンゴル民族を北に追い，〔　　　　〕が建国。	明
明は貿易をおこなう条件として，当時大陸の沿岸を荒らしていた〔　　　　〕の取りしまりを日本に求めた。そのため将軍義満(よしみつ)は，倭寇(わこう)を禁じ，明と正式な貿易をはじめた。	倭寇
⇒明から「日本国王」に任命された足利義満が，明に朝貢(ちょうこう)するという形で貿易がおこなわれた。	
日明貿易は，倭寇と区別をするため，**勘合(かんごう)**という合い札を使ったため〔　　　　〕**貿易**とよばれる。	勘合
朝鮮では高麗(コリョ)がほろび，〔　　　　〕国ができる。このころハングル文字もできる。	朝鮮

●琉球(りゅうきゅう)と蝦夷地(えぞち)

琉球では，15 世紀はじめ〔　　　　〕王国ができる。日本などと中継(なかつぎ)貿易で栄える。	琉球
蝦夷地では，本州の和人(わじん)の圧迫に，先住民の〔　　　　〕民族が蜂起(ほうき)した。	アイヌ

18

室町幕府と産業の発達

●室町幕府のしくみ

〔　　　　〕尊氏(たかうじ)が開いた**室町幕府**は，将軍の補佐(ほさ)役として**管領(かんれい)**がおかれ，それには有力な〔　　　　〕**大名**が交代で任命された。	足利 守護
三代将軍**義満(よしみつ)**のときに〔　　　　〕**朝**が統一され，幕府に政治の権限が集中した。	南北
鎌倉には地方機関として〔　　　　〕府があり，関東の地域を支配していた。	鎌倉

●産業の発達

明などとの貿易で，日本からは，銅，まき絵などが輸出，銅銭，生糸などを輸入。	
農業では，二毛作(にもうさく)が普及，水車の利用，肥料には牛馬の糞(ふん)や，堆肥(たいひ)を使うようになる。	
また麻のほか，わた(綿)の栽培もはじまった。	
手工業では，絹織物，紙，陶器，油など，各地の〔　　　　〕物の生産が進む。	特産

●都市の成長

市(いち)が各地に生まれ，開かれる数も増える。取引には宋銭(そうせん)や〔　　　　〕が使われる。	明銭
交通の要地には〔　　　　〕・車借(しゃしゃく)や**問(とい)(問丸(といまる))**とよばれる運送業者，倉庫業者が活動。	馬借
〔　　　　〕や**酒屋**とよばれる富豪が金融業を営んで栄えた。	土倉
貴族や寺社の保護を受け，営業を独占する〔　　　　〕とよばれる同業組合ができる。	座
堺(さかい)などの都市では自治組織がつくられ〔　　　　〕**衆**によって，政治が行われた。	町

19

民衆の成長と戦国大名

●村の自治

村では〔　　　　〕とよばれる自治組織がつくられ，**寄合(よりあい)**を開いて，団結を強めた。　惣(惣村)

農民は荘園領主や守護大名に抵抗し，高利貸など金融業を営む酒屋や土倉などをおそった。⇒〔　　　〕**一揆(いっき)**　土

⇒こうした土(ど(つち))一揆は，しばしば幕府に対して徳政(とくせい)(借金の帳消し)を求める徳政一揆となった。
また，武士や農民が協力した一揆(国一揆)では，守護大名を追い出して８年間自治をおこなった山城国一揆などがおこった。

●応仁(おうにん)の乱

守護大名の争いに，将軍のあとつぎ争いが結びついて〔　　　　〕の乱がおこった。　応仁

浄土真宗(一向宗)の信者たちの〔　　　　〕一揆などが各地でおこり，戦乱が各地に広がった。　⇒加賀国(石川県南部)でおこった一向一揆は，約 100 年間，自治をおこなった。　一向

●戦国大名の登場と下剋上(げこくじょう)の世

下の者が実力で上の者にうち勝つ〔　　　　　〕の風潮　⇒**戦国大名**の登場　下剋上

〔　　　　〕大名は，それまで山に築いていた城を交通の便のよい平地に築き，武士や商工業者を**城下町**に集め，領内の支配を固めるため，独自の**分国法**をつくる戦国大名もいた。　戦国

20

室町文化とその広がり

●室町時代の文化

京都に幕府が開かれると，禅宗と貴族の文化がとけ合った文化が広まった。

⇒３代将軍足利義満(あしかがよしみつ)が建てた**金閣**

田楽(でんがく)や猿楽(さるがく)などの民衆芸能から，観阿弥(かんあみ)，世阿弥(ぜあみ)親子が〔　　　　〕を大成。　能(能楽)

８代将軍足利義政(よしまさ)が建てた**銀閣**は，たたみや床(とこ)の間(ま)を設けた〔　　　　〕**造**を取り入れた。　書院

禅僧(ぜんそう)によって伝えられた茶の湯や，墨(すみ)一色で自然をえがく〔　　　　〕画が流行。　水墨

⇒**雪舟(せっしゅう)**

銀閣

書院造（東求堂内部）

●民衆への文化の広がり

能の合間に〔　　　　〕が演じられた。また連歌(れんが)がさかんになる。　狂言

「浦島太郎」などの〔　　　　　　　〕とよばれる絵入りの物語もつくられた。　お伽草子

21

ヨーロッパ人の世界進出

●ヨーロッパ人の新航路の開拓

アジアの香辛(こうしん)料や絹，黄金は，古くから〔　　　　　　　　〕人のあこがれであった。　ヨーロッパ

15 世紀の末，**ポルトガル**人は，アフリカの南端(喜望峰(きぼうほう))をまわって，〔　　　　　　〕に到達する航路を開拓した。　インド

スペイン人は，大西洋を西まわりでインドに向かい〔　　　　　　　〕大陸に達した。　アメリカ

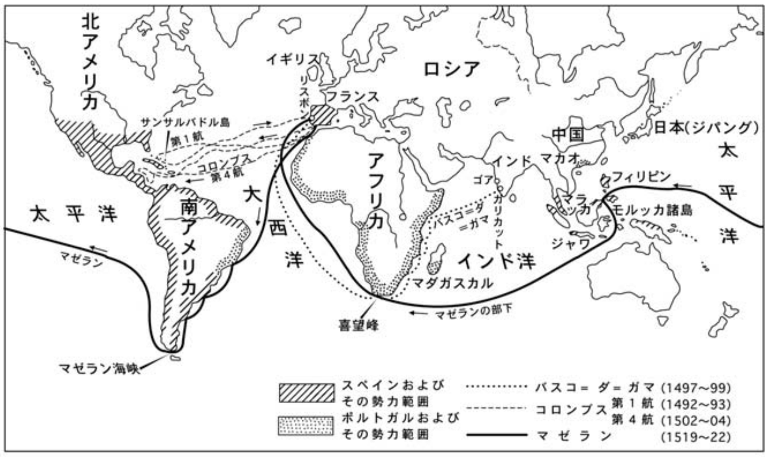
●ヨーロッパの宗教改革とイエズス会

16 世紀初め，**宗教改革**がおこり，カトリック教会からプロテスタントが分かれた。

カトリック教会も改革を進め〔　　　　　　　〕会は，海外布教に力を入れた。　イエズス

●オランダとイギリスの発展

16 世紀末，プロテスタント系の〔　　　　　　　〕やイギリスが勢力を強め，アジアでもスペイン・ポルトガルをおしのけて，貿易や交通路の実権をにぎった。　オランダ



ヨーロッパ人が開いた新航路

22

ヨーロッパ人との出会い

●鉄砲とキリスト教

16 世紀になると，各地の〔　　　　　〕大名が，一国から数か国を支配。　戦国

1543 年，ポルトガル人が**種子島(たねがしま)**に流れ着いて〔　　　　　〕を伝えた。　鉄砲

1549 年，イエズス会の宣教師フランシスコ＝〔　　　　　　　〕が，**キリスト教**を伝えた。　ザビエル

ザビエル

●南蛮(なんばん)貿易

ポルトガル人やスペイン人は〔　　　　　〕人とよばれた。　南蛮

南蛮人が，平戸(ひらど)や長崎の港にやってきて，貿易が始まった。

輸入品は，中国産の生糸や絹織物のほか，〔　　　　　〕，火薬，ガラス製品など。　鉄砲

日本は，おもに〔　　　　〕を輸出した。　⇒〔　　　　　〕**貿易**という。　銀，南蛮

●キリスト教の広まり

宣教師は貿易船に乗ってきて，布教に努めた。九州各地の大名は，南蛮船が領内の港に来ることを許し，なかにはキリシタンになる大名もいた。

大友宗麟(そうりん)ら九州の３人の〔　　　　　　　　〕大名が，４人の少年を使節として，ローマ法皇のもとに送った。　キリシタン

23

織田信長・豊臣秀吉による全国統一

●信長の統一事業

桶狭間の戦いで今川義元を破った〔　　　　　　　〕は京都へのぼり，やがて将軍の足利氏も京都から追放し，〔　　　　　〕幕府をほろぼした。

信長は**鉄砲**をいち早く活用し，〔　　　　　〕に城をつくり，統一を進めた。

城下には〔　　　　　〕・**楽座**の政策をとり，関所を廃止して，商工業を発展させた。

織田信長
室町
安土
楽市

●秀吉の統一事業

信長を討った明智光秀をたおした〔　　　　　　　〕が，信長のあとをついだ。

〔　　　　〕に城を築いて本拠とし，朝廷から関白に任ぜられ，統一を進めた。

1590 年，関東の北条氏をほろぼし，全国統一を完成した。

⇒信長・秀吉の時代を〔　　　　　　　　〕時代という。

豊臣秀吉
大阪
安土桃山

●宣教師の追放

信長は〔　　　　〕一揆や，比叡山などの仏教勢力と対抗し，キリスト教は保護した。

秀吉は〔　　　　　　　　〕教は取りしまったが，〔　　　　　〕貿易は保護した。

一向
キリスト，南蛮

24

兵農分離と朝鮮侵略

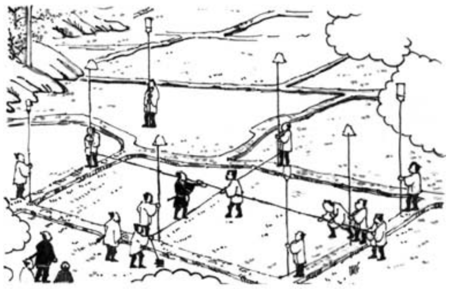
●検地と刀狩

秀吉は，田畑の広さや収穫高を調べ，生産量を**石高**であらわした。

⇒**太閤**〔　　　　　〕

農民から武器をとりあげた。これを〔　　　　　〕という。

⇒〔　　　　　〕**分離**が進んだ。



検地のようす

検地
刀狩，
兵農

●朝鮮侵略

秀吉は，さらに明を征服しようとして，大軍で〔　　　　　〕にせめ入った。

二度にわたる出兵は，しだいに日本軍が苦戦し，秀吉の死後，全軍は引きあげた。

朝鮮

25

桃山文化

●豪華で壮大な文化

天下統一が実現したこの時代，**安土城**や〔　　　　　〕城など，豪華で壮大な文化が発達。城の内部のふすまや屏風には〔　　　　　〕永徳らの豪華な障壁画がかざられた。

茶の湯が大流行し，〔　　　　　　〕は，質素な「わび茶」を完成させた。

この時代の文化は，伏見城があった地名をとって〔　　　　　〕**文化**とよばれた。

民衆のなかから，出雲の〔　　　　　〕という女性が始めたかぶき踊りが流行した。

大阪
狩野
千利休
桃山
阿国

●ヨーロッパ文化の影響

南蛮貿易がさかんにおこなわれ，パン，カステラ，カルタ，タバコなどが伝えられ，また宣教師たちによって，天文学や医学，航海術，活版印刷術などが伝わった。南蛮人が伝えたこれらを〔　　　　　〕**文化**といった。

唐獅子図屏風（狩野永徳）

南蛮

26

江戸幕府の成立と支配のしくみ

●江戸幕府の成立

1600 年, **関ヶ原の戦い**で勝った〔　　　　　　　　〕が全国支配の実権をにぎった。

1603 年，征夷(せいい)大将軍に任命され〔　　　　　〕に幕府を開いた**徳川家康**は，このあと 1614 年，1615 年の〔　　　　　〕の陣で，豊臣氏をほろぼした。

●幕府と藩

幕府の直轄地は約 400 万石, 家臣である旗本・御家人の領地を合わせ４分の１を支配。

京都・大阪などの重要な都市や，おもな〔　　　　　〕を直接支配し，貨幣をつくる権利を独占するなど，大きな経済力をもっていた。

1 万石以上の武士を〔　　　　　〕といい，支配する領域を〔　　　　〕といった。

将軍と大名は主従関係を結び，幕府と〔　　　　〕が全国の土地と民衆を支配した。

⇒この政治のしくみを〔　　　　　〕**体制**という。

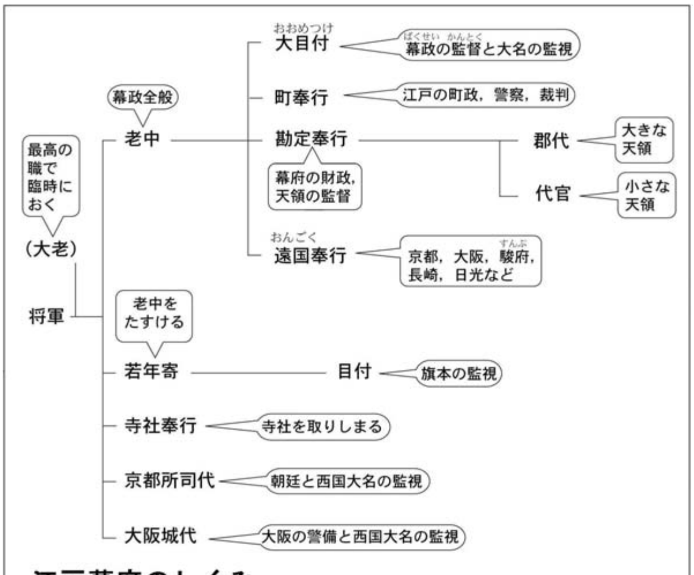
将軍の下で**老中**が政治を行い，重要な地位には古くからの家臣の**譜代(ふだい)大名**がなった。

●大名や朝廷の統制

大名が無断で城を修理したり，同盟を結ぶことを禁止した。　⇒〔　　　　〕**諸法度(しょはっと)**

徳川家光のとき, 1 年おきに江戸と領地を往復する〔　　　　　〕**交代**の制度を定める。

禁中並公家諸法度(きんちゅうならびにくげしょはっと)という法律と〔　　　　　〕**所司代**を置いて朝廷を監視した。



江戸幕府のしくみ

徳川家康(とくがわいえやす)
江戸
大阪
鉱山
大名，藩
藩
幕藩(ばくはん)
武家(ぶけ)
参勤
京都

27

さまざまな身分とくらし

●武士と町人

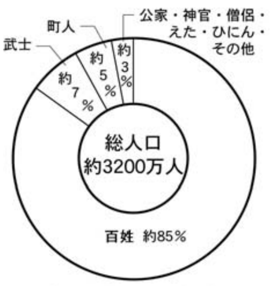
身分は，**武士**と〔　　　　　〕・**町人**に分けられ，支配身分の武士は，名字・帯刀などの特権があった。　⇒**百姓**や町人が武士になることはできなかった。

●村と百姓

土地をもつ〔　　　　　〕と，土地をもたない水呑み百姓があった。有力な本百姓は，庄屋（名主）・組頭・百姓代などの村役人になった。

幕府や藩は百姓に年貢を納めさせた。

⇒〔　　　　　〕の制度で連帯責任。



身分別人口の割合
〔関山直太郎著「近世日本の人口構造」による〕

●きびしい身分による差別

百姓・町人とは別に〔　　　　　〕・ひにんの身分とされた人びともいた。

百姓
本百姓
五人組
えた

28

朱印船貿易から鎖国へ

●朱印船と日本町

徳川家康は，西国の大名や京都・大阪・堺・長崎などの大商人に〔　　　　　〕をあたえ貿易を奨励。　⇒**朱印船貿易**

朱印船貿易がさかんになって，東南アジアの各地に〔　　　　　〕がつくられた。

家康は，〔　　　　　〕やイギリスの貿易を許した。　⇒長崎の平戸に商館

●キリスト教の禁止と貿易の統制

家康は，最初〔　　　　　〕教を黙認していたが，信者の固い団結をおそれ，禁教令をだして，信者を迫害した。

家光は禁教令を強化。　⇒日本人の海外渡航と，海外にすむ日本人の帰国を禁止

●島原・天草一揆と鎖国

キリスト教信者の多かった九州で，農民が重い年貢ときびしい迫害に反抗し，大規模な一揆をおこした。　⇒〔　　　　　〕・**天草一揆**

一揆後，幕府は 1939 年にポルトガル船の来航を禁止。中国とオランダだけが〔　　　　〕の出島で貿易が許された。　⇒200 年以上もつづく〔　　　　〕の始まり

幕府はキリスト教の取りしまりを強化　⇒絵踏，宗門改め

朱印状
日本町
オランダ
キリスト
島原
長崎
鎖国

29

鎖国下の対外関係

●オランダと中国

鎖国によって，日本人は海外発展は閉ざされ，東南アジアの日本町も姿を消した。

長崎に来る，中国や〔　　　　　　　〕の商船が，わずかに世界の事情を伝えた。　**オランダ**

⇒オランダ**風説書**（ふうせつがき）　⇒生糸・絹織物などを輸入，金・銀などを輸出

17 世紀半ば，中国では明がほろび，北から来た〔　　　　〕が建国した。　**清**

●朝鮮と琉球（りゅうきゅう）

朝鮮とは，家康の時代に国交回復し，将軍が代わるごとに使節が来た。　⇒**通信使**

窓口となった対馬（つしま）藩は，宗氏が朝鮮との貿易を担当した。

薩摩藩の支配下にあった〔　　　　〕王国は，明・清にも従い，貿易を許されていた。　**琉球**

●アイヌ民族との交易

蝦夷地（えぞち）（北海道）では，〔　　　　　　〕の人たちが独自の社会をつくっていた。　**アイヌ**

蝦夷地の南部に領地をもつ松前（まつまえ）藩が交易を独占。

⇒17 世紀後半，アイヌは族長の〔　　　　　　　　　　　〕を中心に蜂起（ほうき）。　**シャクシャイン**

30

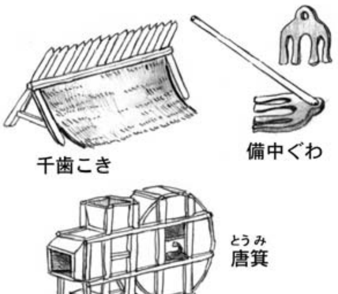
農業や諸産業の発達

●新田（しんでん）開発と農業の進歩

幕府や藩は年貢を増やすため，海や沼地を干拓するなど〔　　　　〕開発を進めた。農具が改良され，農業技術も進歩した。　**新田**

⇒**備中（びっちゅう）ぐわ**，〔　　　　〕**こき**　**千歯（せんば）**

干鰯（ほしか）や油かすなどの肥料が使われた。都市では織物や油しぼりなど加工業が発展。



新しい農具

●諸産業の発達

鉱山の採堀や精錬（せいれん）技術が進んだ。

⇒佐渡（さど）〔　　　　〕や生野（いくの）銀山，足尾（あしお）や別子（べっし）の銅山　**金山**

江戸や京都の金座・銀座で大判・小判，各地の銭座（ぜにざ）で寛永通宝（かんえいつうほう）（銅貨）がつくられた。

水産業　⇒九十九里浜のいわし漁，南西海域の捕鯨（ほげい），蝦夷地（えぞち）のにしん漁やこんぶ漁

織物・酒造・製塩・漆器（しっき）・陶磁器（とうじき）・鋳物（いもの）などの各種の産業も発達した。　⇒**特産物**

綿織物，紅花（べにばな）やあい(藍)などの染料など，現金収入になる〔　　　　〕作物も栽培。　**商品**

●商人（町人）の台頭

参勤交代や諸産業の発達により，**港町**・〔　　　　〕**町・門前町・城下町**が発達した。　**宿場**

都市では，大商人が〔　　　　　〕という同業者組織をつくり，営業を独占した。　**株仲間**

江戸の三井や大阪の鴻池（こうのいけ）など，有力な〔　　　　〕商は，大名にも影響力をもった。　**両替**

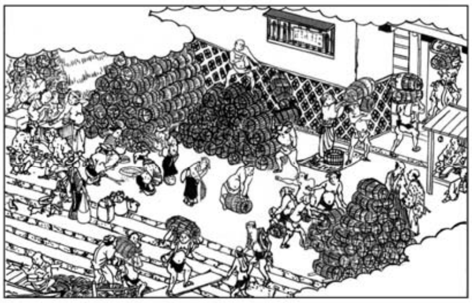
31

都市の繁栄と元禄文化

●江戸・大阪・京都の繁栄

江戸は18世紀初めには，人口〔　　　　〕万人の大都市に成長していた。 100

商業や金融の中心地〔　　　　　〕は諸藩の**蔵屋敷**が置かれ「**天下の台所**」と言われた。 大阪

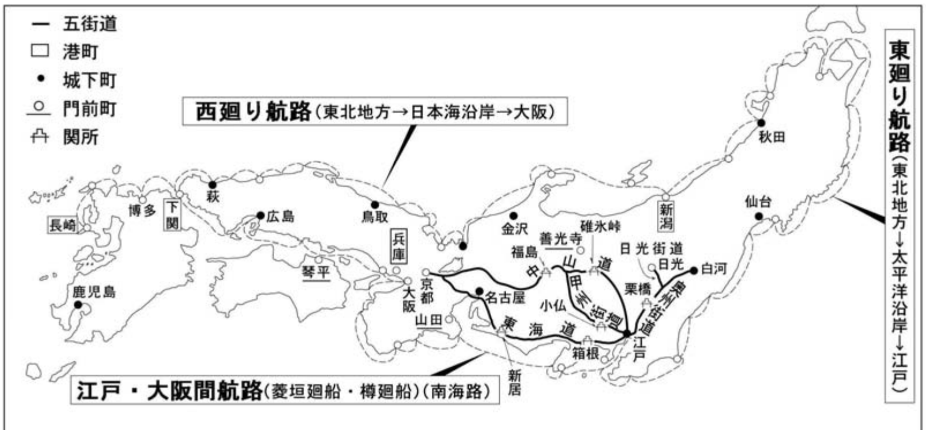


大阪の蔵屋敷のようす

〔　　　　〕は，西陣織など高度な工芸品がつくられた。 京都

⇒**三都**（江戸・京都・大阪）

江戸と大阪間には菱垣(ひがき)廻船などの定期船が往復。また**西廻り航路**や**東廻り航路**が開発。



江戸時代の交通

●元禄(げんろく)文化

学問の発達－5代将軍綱吉が奨励した儒学，なかでも〔　　　　〕学が広く学ばれた。 朱子

京都や大阪の**上方(かみがた)**で，**町人**中心の新しい文化が発達した。　⇒〔　　　　〕**文化** 元禄

小説－**井原**〔　　　　〕…町人の生活や欲望を浮世草子(うきよぞうし)に生き生きとえがいた。 西鶴(さいかく)

人形浄瑠璃(じょうるり)－〔　　　　〕**門左衛門**　　歌舞伎－坂田藤十郎，市川団十郎 近松

俳諧(はいかい)－**松尾**〔　　　　〕　　絵画－俵屋宗達(たわらやそうたつ)や尾形光琳(おがたこうりん)　**浮世絵(うきよえ)**－菱川師宣(ひしかわもろのぶ) 芭蕉(ばしょう)

32

享保の改革と変わる社会

●享保の改革

8 代将軍**徳川吉宗**が実行。武士に質素・〔　　　　　〕をすすめ，大名の参勤交代をゆるめ，そのかわりに幕府に米を献上させた。　⇒**上げ米**の制…幕府財政が立ち直る。

公事方御定書（裁判の基準になる法律），**目安箱**（民衆に意見を聞いた），**新田開発**。

倹約

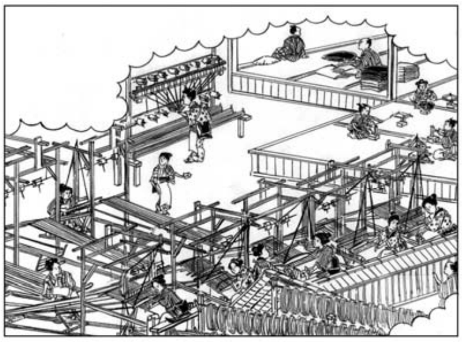
●貨幣経済の広がり

農村にも貨幣経済が広がり，自給自足に近かった農村の経済はくずれ始めた。

⇒農民に貧富の差が拡大　⇒土地を失い小作人になったり，都市へ流出した。

綿の栽培が全国に普及し，生糸の生産のため〔　　　　　〕もさかんになった。

⇒織物などの手工業も各地に広まる
－綿織物，絹織物



綿織物業のようす

養蚕

●百姓一揆と打ちこわし

農村では負担の増加に苦しむ農民が〔　　　　　〕一揆をおこし，都市でも貧しい人々が，米の買しめをした商人に対する〔　　　　　　　　　〕が起こった。

百姓

打ちこわし

33

幕府政治の改革

●田沼意次の政治

18 世紀後半，老中の**田沼意次**は，商人の力を利用して幕府の財政を立て直そうとした。

⇒〔　　　　　〕の奨励。長崎貿易の拡大。わいろ政治の批判でやめる。

株仲間

●寛政の改革

田沼のあとに老中になった**松平**〔　　　　　〕は，吉宗の政治を理想とし，農村の立て直しをめざした。

⇒都市に流れこんだ農民を村に帰した。ききんに備えて米をたくわえた。朱子学以外の儒教を禁じた。

定信

●外国船が来た

定信が老中のころ，ロシア船が北海道の〔　　　　　〕に来て貿易を求めたが断った。

⇒オランダ，中国以外の国とは交渉をしない（鎖国）ことが祖法（先祖以前の法）と考えた。

根室

34

新しい学問と化政文化

●国学と蘭学（洋学）

〔　　　　　〕－日本の古典の研究から，日本古来の精神にもどることを主張。　　国学

⇒**本居宣長**（「古事記伝」）

〔　　　　　〕－ヨーロッパの学問の研究。　　蘭学

⇒**杉田玄白**（「**解体新書**」），**平賀源内**，**伊能忠敬**（全国の沿岸を測量し，日本全図をつくる）

●化政文化

19 世紀初めの文化・文政年間になると，文化の中心は上方から〔　　　　　〕に移った。文芸では，世相を風刺した〔　　　　　〕や狂歌が流行した。　　江戸　川柳

俳諧－小林一茶，与謝蕪村　　**浮世絵**－喜多川歌麿，葛飾北斎，歌川広重

小説－十返舎一九の「**東海道中膝栗毛**」，〔　　　　　〕の「**南総里見八犬伝**」　　滝沢馬琴

●教育の広がり

このころには，都市の文化が〔　　　　　〕にも広がった。　　地方(農村)

町や農村の子どもたちが〔　　　　　〕で，読み・書き・そろばんを学んだ。　　寺子屋

諸藩では，〔　　　　　〕を設けて儒学を教え，人材育成と武士の気風をひきしめた。　　藩校

35

外国船の出現と天保の改革

●外国船を打ち払う

18 世紀後半の〔　　　　　〕船の来航につづき，19 世紀になると外国船がひんぱんに現れ，幕府に通商をせまった。　⇒幕府は**外国船**〔　　　　　〕**令**を出して対抗　　ロシア　打払

幕府はこれを批判した蘭学者たちを弾圧した。　⇒渡辺崋山と〔　　　　　〕　　高野長英

●大塩の乱

国内では天保の〔　　　　　〕と米不足で，各地で一揆と打ちこわしが続発した。　　ききん

1837 年，大阪町奉行所の役人であった〔　　　　　〕が人々の苦しい生活を見かねて，乱をおこした。　⇒**大塩平八郎の乱**　　大塩平八郎

●天保の改革

老中**水野忠邦**が実行。きびしい倹約令を出して，ぜいたくを禁じ，出版や風俗を取りしまった。　⇒農民の江戸への出かせぎを禁止。〔　　　　　〕の解散　　株仲間

⇒2 年余りで失敗

●諸藩の改革

同じころ，諸藩でも財政に行きづまり，思いきった改革が必要になっていた。

薩摩藩（鹿児島県）や〔　　　　　〕藩（山口県）は，有能な下級武士を重く用い，大胆な改革を進めた。　⇒これらの西南の藩が，のちに幕府をたおす中心になった！　　長州

36

近代革命の時代

●ヨーロッパの繁栄

18 世紀，ヨーロッパではオランダにかわって〔　　　　　　〕・フランスが台頭。　イギリス

イギリスは，17 世紀の 2 度の革命により，専制政治を行う国王を追放して，立憲君主制を定め〔　　　　〕政治の基礎がつくられていた。　議会

⇒海外の植民地を拡大し，ヨーロッパの最強国へ。

●アメリカの独立

イギリスの植民地であったアメリカでは，本国の新しい税と弾圧に反発し，1776 年に〔　　　　〕**宣言**を発表。⇒独立戦争に勝利したアメリカは合衆国憲法を制定。　独立

⇒〔　　　　〕憲法…人民主権，連邦制，三権分立の近代民主的憲法のモデル　合衆国

●フランス革命

アメリカの独立に影響を受けて，フランスでも 1789 年〔　　　　　　〕**革命**が起きた。　⇒自由，平等，人民主権の「〔　　　　〕**宣言**」を発表。　フランス　人権

市民が中心に，古い身分社会を改め，自由で平等な社会をめざした革命を**市民革命**という。

37

産業革命と資本主義の社会

●産業革命

18 世紀中ごろ，イギリスで蒸気(じょうき)力で動く機械が実用化。　⇒うすくて安い綿織物

〔　　　　〕機関を利用した汽車や汽船が発明。　⇒製鉄, 機械, 武器などの産業も発達。　蒸気

⇒この社会変化を〔　　　　〕**革命**という。 ⇒イギリスは「世界の工場」とよばれた。　産業

●資本主義と社会主義

資本や工場をもつ投資家が，工場で働く〔　　　　　〕をやとって生産をするしくみが広がる。　⇒〔　　　　〕主義　労働者　資本

資本主義社会のもとでは, 貧富の差や長い労働時間, 労働災害などの社会問題が発生。

⇒労働条件の改善を求め労働組合を結成　⇒理想の共同体をめざす〔　　　　〕主義。　社会

●アメリカの発展

アメリカ合衆国は，ヨーロッパの移民を受け入れて，農業と工業が発達。

1861 年，奴隷(どれい)制などの対立から国が分裂。　⇒〔　　　　〕**戦争**　南北

この内戦を克服したアメリカは，大陸横断鉄道を建設し，資本主義大国へと急成長。

38

ヨーロッパのアジア侵略

●イギリスのアジア貿易

19 世紀，産業革命によって〔　　　　〕主義の影響は世界中におよぶ。　資本

イギリスは工業製品を植民地のインドに輸出，インド産の麻薬アヘンを中国（清）に密輸，中国産の〔　　　〕や絹を手に入れるという〔　　　　〕貿易で利益をあげた。　茶，三角

●アヘン戦争

アヘンに苦しんだ清政府は，アヘンをきびしく取りしまったことから，イギリスと〔　　　　　〕**戦争**になる。清は敗れ，香港(ホンコン)をゆずり，不平等な条約をおしつけられた。　⇒南京(ナンキン)条約　アヘン

清の国内では，貧しい農民たちによる〔　　　　　　〕**の乱**が広がる。　太平天国

●インドの植民地化とロシアのアジア進出

イギリスの支配にインドで大規模な反乱　⇒イギリスが〔　　　　〕を植民地に。　インド

16 世紀後半から 19 世紀，ヨーロッパの列強諸国が東南アジアの植民地化を進めた。

ロシアも中央アジア，シベリアなどに進出。　⇒シベリア鉄道の建設

39

開国と不平等条約

●ペリーの来航

1853 年，アメリカのペリーが４隻の軍艦を率い，日本に〔　　　　　〕を求める。翌年**日米**〔　　　　　〕**条約**を結び，下田と函館の港を開港。 | 開国 / 和親

●不平等な通商条約

1858 年，大老の井伊直弼は，反対派をおさえて〔　　　　　　　　　　　　〕**条約**を結ぶ。　⇒日本にとって①領事裁判権を認め。②関税自主権のない不平等な条約であった。 | 日米修好通商

●開国の影響

安い綿製品の輸入で，国内の生産地は打撃を受け，生糸は貿易商人の買いしめで品不足になる。物価も上昇。

⇒外国への反感から外国人を排斥する〔　　　　　〕の主張が高まる。 | 攘夷

40

江戸幕府の滅亡

●尊王攘夷運動の高まり

幕府の開国政策に大名や武士，公家ら反対。天皇を尊ぶ**尊王論**と**攘夷論**が結びつく。

⇒大老〔　　　　　〕直弼の安政の大獄　⇒桜田門外で井伊が暗殺される。 | 井伊

●倒幕への動き

長州藩は外国艦隊に下関の砲台を占領されたこと，薩摩藩はイギリスとの交戦（薩英戦争）などの経験から，攘夷よりも強い統一国家をつくることの必要性を痛感した。

1866 年，土佐の**坂本竜馬**らのなかだちで〔　　　　　〕**同盟**が結ばれた。 | 薩長

この年，幕府は二度めの長州藩攻めを行ったが失敗，幕府の威信は低下した。

●大政奉還と王政復古

1867 年，15 代将軍徳川慶喜は，朝廷に政権を返上した。　⇒〔　　　　　〕**奉還** | 大政

天皇中心の政治にもどす〔　　　　　〕**復古の大号令**が出る。**戊辰戦争**後，幕府降伏。 | 王政

41

新政府の成立

●明治維新

新政府は，1868 年〔　　　　　　　　　　　　〕を出して，新しい政治の方針を示した。年号を明治と改め，江戸を〔　　　　　〕と改称し，新しい首都とした。 | 五箇条の御誓文 / 東京

●廃藩置県

1869 年，藩に土地と人民を朝廷（政府）に返させ（**版籍奉還**），さらに 1871 年に**藩を廃して県を置く**〔　　　　　　　　〕を断行。　⇒各府県には府知事や県令を派遣。 | 廃藩置県

●四民平等

これまでの身分制度を改め，武士を〔　　　〕族，百姓や町人を〔　　　　　〕とし，皇族以外はすべて**四民平等**とした。えた・ひにんなどのよび名も廃止した。　⇒**解放令** | 士，平民

42

富国強兵をめざして

政府は**欧米に負けない強国をめざして，学制，兵制，税制の改革**に取り組んだ。

●学制への公布

6 歳以上の男女すべての小学校教育を受けることを国民の義務とした。⇒〔　　　〕制　学

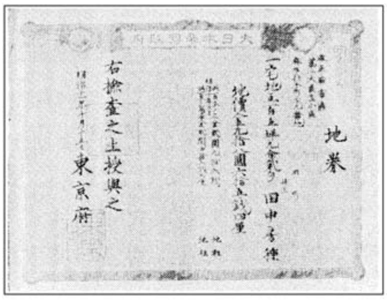
●徴兵令

政府は武士中心の軍隊をやめ，満〔　　　〕歳以上の男子すべてに**兵役の義務**を課した。　20

●地租改正

土地の所有権を認める〔　　　　〕を交付。　地券

⇒税は地価の〔　　〕%を現金で納める。　3



43

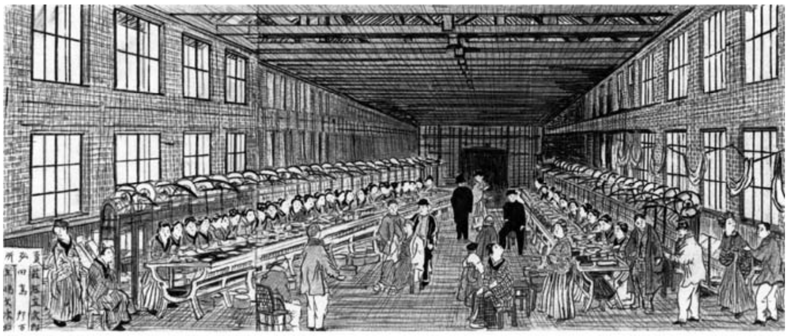
文明国をめざして

●殖産興業

政府は，近代産業をさかんにしようと殖産興業を進めた。　⇒各地に〔　　　　〕工場　官営

1872 年に**新橋・横浜間に鉄道が開通**し，また**郵便**制度や電信網が整えられた。

北海道には**開拓使**をおき，〔　　　　〕兵を送って開発を進めた。　屯田



富岡製糸場のようす（群馬県）

●文明開化

都市では洋風の建築が建ち，ガス灯がともり，人力車や馬車が走り，洋服を着て牛肉を食べる者もいた。1872 年〔　　　　〕**暦**を採用。　⇒1 日 24 時間，1 週間を 7 日。　太陽

新しい民主主義の思想。　⇒「**学問のすゝめ**」の**福沢諭吉**，中江兆民

44

近代的な国際関係の確立

●岩倉使節団

1871 年,〔　　　　　　　　　〕を大使とする使節団を欧米に派遣。

⇒不平等条約は改正できなかった。国力の充実，近代化の推進の必要性を痛感して帰国。

●中国と朝鮮

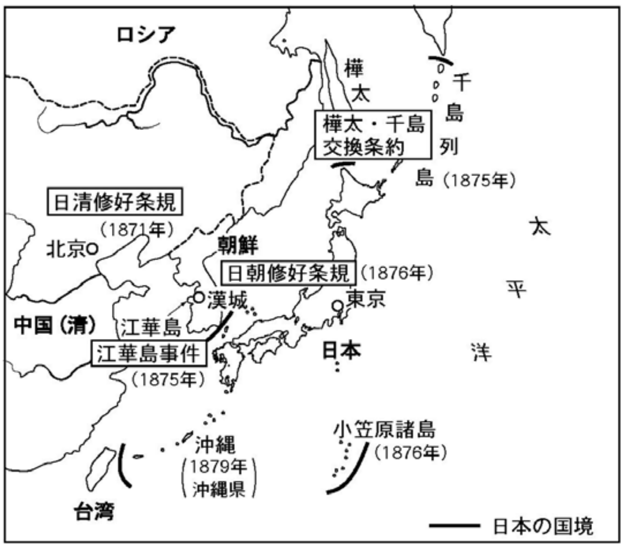
清とは**日清修好条規**を結んだが，朝鮮は鎖国を主張してこばんだので，政府内には武力で開国をせまる〔　　　　　　〕**論**が高まる。　⇒西郷隆盛らと欧米使節団組が対立

1875 年，江華島事件を口実に，政府は朝鮮に不平等な**日朝修好条規**を結ばせた。

●国境の画定と沖縄県

1875 年,〔　　　　　　　〕と**樺太（からふと）・千島交換条約**を結び，千島全島が日本領と決まる。

小笠原諸島の日本領を宣言。清と争っていた琉球（りゅうきゅう）は 1879 年日本領とし**沖縄県を設置**。



明治初めの外交と国境の画定

岩倉具視（ともみ）

征韓（せいかん）

ロシア

45

自由民権運動の高まり

●民権運動のはじまり

征韓論に敗れて政府を退（しりぞ）いていた**板垣退助（いたがきたいすけ）**は，国民が政治に参加できる議会をつくるべきだと主張して〔　　　　　　　　　〕**設立の建白書**（意見書）を提出した。

●士族の反乱

刀を持つことが禁止されるなど，政府に不満をもつ士族たちが各地で反乱をおこす。

1877 年，西郷隆盛を中心にした**西南戦争**で，武士（士族）の時代は完全に終わる。

●高まる自由民権運動

西南戦争後，政府への批判は言論によるものが中心となり〔　　　　　　　　　〕**運動**は，地方の豪農や商工業者も多数参加し，全国に広がった。

1880 年，国会期成同盟が結成され，**国会の開設**，**憲法制定を要求する声**は高まった。

開拓使施設の払い下げの不正事件で政府への攻撃が強まり，政府は国会開設を約束。

民撰（みんせん）議院

自由民権

46

立憲国家の成立

●政党の成立

国会の開設に向け政党が結成。　⇒板垣退助の〔　　　　　〕**党**，大隈(おおくま)重信の**立憲改進党**　自由

政府のきびしい弾圧などで各地で激化事件がおこる。　⇒秩父困民党(ちちぶこんみん)の秩父事件など

●憲法の準備と内閣制度の創設

伊藤博文はドイツで憲法を学び，草案を作成。

内閣制度がつくられ〔　　　　　　　　〕が初代の内閣総理大臣となる。　伊藤博文

●立憲国家の成立と帝国議会

1889 年，〔　　　　　〕に強い権限のある**大日本帝国憲法**が発布。　⇒翌年に教育勅語　天皇

議会は**貴族院と衆議院の二院制**。　⇒選挙権は税 15 円以上納める〔　　　〕**歳以上の男子**　25

47

欧米列強の帝国主義と条約改正

●列強の進出と帝国主義

19 世紀の後半になると〔　　　　　〕主義が急速に発展した**欧米の列強諸国**は，**原料や市場を求めて軍事力を背景に海外に進出して植民地化を進め**た。　資本

⇒〔　　　　　〕主義　帝国

●朝鮮半島の情勢

朝鮮半島に勢力をのばそうとしていた日本は，〔　　　　〕と対立。　清

朝鮮内では親日派と新中派が対立。農民が政治改革を求めて蜂起(ほうき)。　⇒**甲午(こうご)農民戦争**

●条約改正

1894 年，ロシアを警戒していたイギリスとの間で〔　　　　　　　　　〕**権の撤廃に成功**。他の諸国とも改正が実現。関税自主権の一部も認められる。　領(りょう)事裁判

48

日清戦争

●日清(にっしん)戦争と下関(しものせき)条約

1894 年，甲午(こうご)農民戦争がおこると，清と〔　　　　　〕は朝鮮に出兵。　⇒**日清戦争**　日本

戦争は近代装備でまさる日本が勝利し，1895 年〔　　　　　〕**条約**が結ばれた。　下関

⇒〔　　　　〕は朝鮮の独立を認める。日本は遼東(リャオトン)半島・台湾と，賠償金を得る。　清

●加速する列強の中国侵略

条約改正と日清戦争によって，日本は列強の圧力から脱し，国際的地位を高めた。〔　　　　〕の弱体化を見た列強は，中国国内にきそって勢力圏を広げ，利権を獲得した。　清

●三国干渉(さんごくかんしょう)

〔　　　　　　〕が，ドイツ・フランスとともに遼東半島を清に返すよう日本に要求。日本は三国の軍事力を恐れて要求に応じる。　⇒国民のロシアへの反感が高まる。　ロシア

49

日露戦争

●義和団事件

清では，列強の中国進出に反発する排外運動がさかんになる。　⇒〔　　　　　〕**事件**。

日本・ロシアを主力に 8 か国の連合軍がこれを鎮圧。ロシアは事件のあとも満州に軍隊をおき，事実上占領し，さらに南下しようとしていた。

日本はロシアと対立していたイギリスに接近。　⇒1902 年〔　　　　　〕**同盟**を結ぶ。

戦争の危機が迫り，内村鑑三など開戦に反対したが，国内では主戦論が強まる。

●日露戦争とポーツマス条約

1904 年〔　　　　　〕**戦争**が始まる。日本軍は苦戦しながらも戦局を有利に進めた。

しかし日本の戦力は限界に達し，ロシアでも〔　　　　　〕運動がおこる。

アメリカの仲介で，アメリカの〔　　　　　　　　　〕で講和条約が結ばれた。

ロシアは，①韓国における日本の優越権，②遼東半島の日本の租借権，南満州鉄道の利権を日本へ譲る，③南樺太を日本の領土にする，などを認めた。

⇒賠償金がなかったので，国民はこの講和には不満であった（日比谷焼き打ち事件）。

義和団
日英
日露
革命
ポーツマス

50

韓国と中国

●韓国の植民地化

スポーツマス条約で，韓国での優越権を得た日本は，武力を背景に〔　　　　　〕を保護国とし，統監府をおいて，内政・外交とも日本の支配下においた。

韓国ではげしい抵抗運動。　⇒日本は**韓国を併合**，朝鮮統監府をおいて植民地支配。

条約で得た南鉄道利権をもとに満州鉄道を設立。　⇒炭鉱や製鉄所などの開発。

● 中華民国の成立

列強の圧迫に対抗して，清政府を倒す革命運動がおこった。⇒**孫文**，〔　　　　　〕主義

〔　　　　〕はアジア初の共和国である**中華民国の成立**を宣言。⇒〔　　　　　〕**革命**

韓国
三民
孫文，辛亥

51

産業革命の進展

●産業の発展

1880 年代以降，紡績・製糸などの〔　　　　〕工業が発展。　⇒〔　　　　　〕**革命が進む**。

日清戦争後，官営の〔　　　　　〕**製鉄所**の建設。　⇒軍事産業中心に重工業が発達。

●資本家と労働者

三井・三菱・住友・安田など少数の資本家は〔　　　　　〕に成長。⇒日本経済を支配。

資本主義の発達　⇒工場労働者増加…低い賃金，長時間労働のきびしい労働条件。

●地主と農民

農作物の商品化が進み, 生糸の生産が増え桑の栽培や〔　　　　　〕がさかんになる。

富をたくわえた大地主と，商品経済にまきこまれた零細農民と小作人　⇒苦しい生活。

公害の発生　⇒〔　　　　　〕**鉱毒事件**　被害民救済の運動を進めた**田中正造**。

軽，産業
八幡
財閥
養蚕
足尾

52

近代文化の形成

●新しい芸術－日本の美と西洋の美

文明開化の波におされておとろえていた日本画を，〔　　　　　　〕がそのすぐれた価値を見直し〔　　　　　　〕とともに，日本美術の復興につとめた。

日本画の**横山大観・狩野芳崖**，洋画の**黒田清輝**（印象派の明るい画風を紹介）

彫刻－伝統的な木彫りの技法を生かした高村〔　　　　〕，ロダンの作風の荻原守衛

音楽－滝廉太郎「荒城の月」「花」

●近代文学の成長

近代文学の出発点－人の心の動きや人生をありのままにえがく。⇒〔　　　　〕一致

個人の自由な感情を尊重するロマン主義－**与謝野晶子**，「たけくらべ」の**樋口一葉**

近代社会のなかで生きる人々のなやみをえがいた〔　　　　〕**漱石**・〔　　　〕**鷗外**

●教育の普及と科学者たち

破傷風の血清療法を発見した〔　　　　〕**柴三郎**，赤痢菌を発見した〔　　　　〕潔，細菌学の野口英世など，いずれも世界的な研究をなしとげた。

フェノロサ
岡倉天心
光雲
言文
夏目，森
北里，志賀

53

第一次世界大戦とロシア革命

●第一次世界大戦

ヨーロッパでは〔　　　　　　〕を中心にオーストリア・イタリアが**三国同盟**を結ぶと，イギリスはフランス・ロシアと**三国協商**を結び〔　　　　　　〕半島で対立を深めた。

1914 年，オーストリア皇太子夫妻が暗殺されるとオーストリアがセルビアに宣戦。

これをきっかけに同盟国側と三国協商についた国々（連合国側）で戦争が始まった。

戦争は〔　　　　　　〕が主戦場となり，社会全体をまきこむ**総力戦**となった。

日本は〔　　　　〕同盟を理由に連合国側で参戦。

アメリカも 1917 年にドイツに宣戦。

●社会主義革命

大戦中の 1917 年〔　　　　　〕で革命がおこり，〔　　　　　　〕を指導者に，労働者と農民・兵士を中心とする世界最初の社会主義国が誕生。　⇒**ソビエト連邦**（ソ連）

ドイツ
バルカン
ヨーロッパ
日英
ロシア，レーニン

54

国際協調の高まり

●ベルサイユ条約と国際連盟

1918 年ドイツが降伏し，翌年パリで講和会議が開かれた。⇒〔　　　　　　〕**条約**

アメリカのウィルソン大統領の提案で〔　　　　　　〕の設立が決まる。

⇒ドイツ，ソ連そして〔　　　　　　〕の不参加もあり，強い力をもてなかった。

●民主主義の進展

大戦の被害を受けなかった〔　　　　　　〕は繁栄がつづき，国際的な発言力がました。

⇒1921 年ワシントン会議（軍備の制限）…日本も海軍の軍備も制限された。

大戦とロシア革命の影響で，議会制民主主義を強めようとする動きが世界に広がった。

⇒ドイツでワイマール憲法（主権在民，男女の普通選挙権，労働者の団結権）

ベルサイユ
国際連盟
アメリカ
アメリカ

55

アジアの民族運動

●中国の反帝国主義運動

大戦が始まると，日本は辛亥革命後の混乱している中国に〔　　　　　　　〕**か条の要求**をした。　⇒中国のドイツの権益の継承するなど，中国の主権をおかすものであった。

中国の反日感情が高まり，日本に対する抵抗運動が全国に広がった。　⇒**五・四運動**

二十一

●朝鮮の独立運動

日本の植民地〔　　　　　〕では，1919年3月1日ソウルで，「独立万歳」をさけぶ民衆がたちあがり，運動はたちまち全国に広がった。　⇒〔　　　　　　　〕**運動**

朝鮮
三・一独立

●インドの民族運動

イギリスの植民地〔　　　　　　　　〕では，非暴力・不服従の運動を唱える〔　　　　　　　　〕を指導者に，完全な自治を求める運動が高まった。

インド
ガンディー
（ガンジー）

56

大正デモクラシー

●護憲運動と大正デモクラシーの思潮

1912（大正元）年，尾崎行雄や犬養毅らが中心となり，憲法の精神にもとずく政治を守ろうという運動がおこり，陸軍や藩閥に支持されていた桂内閣が退陣した。

⇒**護憲運動**

大正時代は政党政治が発展し，〔　　　　　〕選挙法が成立し，自由主義の風潮が高まった時代であった。　⇒大正〔　　　　　　　　　　〕の時代…吉野作造の民本主義

米騒動の直後，立憲政友会の原敬による，はじめての本格的な〔　　　　　〕**内閣**ができる。

普通
デモクラシー
政党

●普通選挙法と治安維持法

1925年〔　　　〕歳以上の〔　　　　　〕に選挙権をあたえる**普通選挙法**が実現。

しかし同時に〔　　　　　　　　　〕**法**を定め，社会運動の取りしまりを強めた。

20，男子
治安維持

57

広がる社会運動

●社会運動の高まり

デモクラシーの風潮のなかで，労働者は〔　　　　　　　〕をつくって団結を強め，賃金のひき上げや労働条件の改善を求め，**労働運動**を展開した。

農村でも小作料の引き下げを求める〔　　　　　〕**争議**がおこった。⇒日本農民組合

大逆事件のあと社会主義運動もふたたび高まり，1922年日本共産党が結成された。

労働組合
小作

●解放を求めて

明治の解放令後も不当な差別で苦しめられてきた人々が，**全国**〔　　　　　　〕を結成。女性の社会的差別からの解放をめざす女性運動もさかんになった。

⇒平塚らいてう（ちょう）が青鞜社結成

水平社

58

都市化と大衆文化

●都市の生活

都市では，洋風の生活様式が流行。　⇒文化住宅，カレーライス・コロッケなどの洋食。
ガス・水道・電気の普及。働く女性が増加。女性の服装も着物から洋服へ。

●大衆文化の登場

100 万部をこえる新聞，週刊誌・総合雑誌。1925 年から始まった〔　　　　〕放送。　**ラジオ**
大衆小説・映画・演劇，野球やテニスなどのスポーツが大衆娯楽として普及。

●大正期の教育と文化

中等・高等教育の普及，大学や専門学校も増え，女子教育の充実も図られた。
文学…**芥川龍之介**（あくたがわりゅうのすけ），志賀直哉，谷崎潤一郎。「善の研究」の西田幾多郎（きたろう）。

59

世界恐慌とブロック経済

●世界恐慌（きょうこう）

アメリカは，第一次世界大戦後は世界第一の経済力をもつ国となった。
1929 年，ニューヨークで〔　　　　〕が大暴落（ぼうらく）し，不景気となり失業者があふれた。　**株価**
不景気は世界じゅうに広がり〔　　　　　　〕とよばれた。　**世界恐慌**
ソ連はスターリンの独裁体制のもと「五か年計画」を進め恐慌の影響を受けなかった。

●ブロック経済

イギリスやフランスは，植民地の商品に安い関税をかけ，他国の商品をしめ出した。
⇒〔　　　　　　〕経済…植民地の少ないイタリア，ドイツ，日本などは反発。　**ブロック**

●アメリカのニューディール政策

アメリカでは，ルーズベルト大統領が**ニューディール**（新規まき直し）**政策**を進め，政府の力で公共事業をおこし，失業者を減らし，労働者の収入を増加し回復をはかった。

60

ファシズムの台頭と日本

●ファシズム国家の登場

イタリアやドイツでは，恐慌を独裁政治による軍事力の強化でのりきろうとした。
イタリアでは，ムッソリーニの率いる〔　　　　　　〕党が政権をにぎった。　**ファシスト**
ドイツは〔　　　　　　〕の率いるナチスが選挙で政権をにぎると，反対派を攻撃し，なかでも〔　　　　〕人を迫害した。　**ヒトラー**　**ユダヤ**
⇒民主主義と基本的人権を無視した**軍国主義的な独裁政治**を〔　　　　　　〕とよんだ。　**ファシズム**

●世界恐慌と日本

第一次世界大戦後の日本は不景気に苦しんでいた。さらに**世界恐慌によって，日本経済は大きな打撃を受けた。**　⇒企業の倒産，失業者の増大，農作物の価格の暴落
⇒都市では労働争議，農村では〔　　　　〕争議がはげしさを増していた。　**小作**

●行きづまる政党政治

この不景気のなかで，市場を独占した〔　　　　〕は，政治への影響力を強めた。　**財閥**
⇒財閥と結びついて汚職や政争をくり返す〔　　　　〕への国民の不満が高まる。　**政党**

61
日本の中国侵略

●満州事変と国際連盟脱退

昭和の初め，中国では蔣介石（しょうかいせき）の率いる〔　　　　〕党政府が，全国をほぼ統一した。　国民

1931年，満州にいた日本軍が，満鉄の線路を爆破し，満州を占領。　⇒**満州事変**

日本は占領した満州に〔　　　　〕国をつくり，実質的に支配した。　満州

当時の内閣は，満州国に反対した。1932年，海軍の青年将校らは犬養毅（いぬかいつよし）首相を暗殺。

⇒**五（ご）・一五（いちご）事件**

これによって，つづいていた〔　　　　〕内閣は終わった。　政党

国際連盟は満州国を認めなかった。これに反発して日本は〔　　　　〕脱退。　国際連盟

●軍国主義の高まりと二（に）・二六（にろく）事件

1936年，陸軍の青年将校らが，首相や有力政治家を襲撃（しゅうげき）した。

⇒〔　　　　〕**事件**　二・二六

軍部は，この反乱をしずめた。以後，**軍部の政治への発言力は強まり**，軍備拡張へ進んだ。このあと日本はファシズム諸国のドイツ，イタリアと結びつきを強める。

62
日中全面戦争

●日中戦争のはじまり

日本は満州からさらに，中国北部（華北）に侵入。1937年，北京郊外の盧溝橋（ろこうきょう）で日中両軍が衝突し〔　　　　〕**戦争**が始まった。　日中

⇒首都の南京を占領（南京大虐殺（ぎゃくさつ）/南京事件）

●戦争は中国全土に広がり泥沼化した

中国では対立していた国民党と共産党が共同して日本に対抗。　⇒**抗日（こうにち）民族統一戦線**

日本軍は中国各地を占領したが，広い地域で抵抗がつづき，長期戦になっていった。

●総動員の戦争体制－強まる統制経済－

中国との戦争が長期化すると，政府は1938年に〔　　　　〕**法**を定め，**国民と物資を戦争に動員**できるようにした。　国家総動員

1940年には，政党を解散して〔　　　　〕**会**をつくり，議会は形だけになっていった。〔　　　　〕や軍部に批判的な思想は，言論もふくめ困難になった。　大政翼賛（たいせいよくさん）　戦争

軍需品の生産が優先され，主食の米をはじめ，**日用品は**〔　　　　〕**制になった**。　配給（はいきゅう）

隣組（となりぐみ）がつくられ，助け合いと，おたがいを監視し合う役割を果たした。

朝鮮では，日本人に同化させようとする〔　　　　〕**化**政策が強められていった。　皇民（こうみん）

63
第二次世界大戦

●ヨーロッパでの戦争

ドイツは，1938年にオーストリア，1939年にチェコスロバキアの一部も併合した。つづいてソ連と不可侵条約を結んで，こんどは〔　　　　〕に侵入した。　ポーランド

⇒〔　　　　〕・フランスはポーランドを支援しドイツに宣戦。　イギリス

●戦争の拡大と日独伊（にちどくい）三国同盟

ドイツは，1940年フランスを降伏させ，西ヨーロッパの大部分を占領。

イタリアもドイツ側にたって参戦。1940年に**日独伊**〔　　　　〕**同盟**が結ばれる。　三国

ドイツが不可侵条約を破って，独ソ戦が始まると，アメリカ・イギリスはソ連を援助。

⇒アメリカはイギリスと民主主義を守る原則をまとめた〔　　　　〕を発表。　太平洋憲章

ドイツは多数の〔　　　　〕人をとらえて収容所へ送り，数百万人の命をうばった。ドイツの占領攻撃に反対する人々は各地で，レジスタンスといわれる抵抗運動を行う。　ユダヤ

64

アジア・太平洋での戦い

●東アジアの動き

フランスがドイツに敗れると，日本は「大東亜共栄圏（だいとうあきょうえいけん）」を唱え，東南アジア進出。

そして〔　　　　　　〕・イタリアと**日独伊三国同盟**を，ソ連とは中立条約を結ぶ。　**ドイツ**

●太平洋戦争の始まり

アメリカは，日本の侵略的な行動を警戒し，日本に対して軍需物質の輸出を制限し，日本への〔　　　　　〕や鉄などの輸出を禁じた。　**石油**

アメリカとの戦争を決意した日本は, 1941 年 12 月ハワイ真珠湾を奇襲　⇒**太平洋戦争**

●戦争の長期化と国民生活

戦争は総力戦となり，**日本国民のほとんどが戦争に動員された**。

⇒学徒出陣。工場や鉱山には中学生や女学生も動員された（勤労動員）。

さらに朝鮮や中国の人々が日本に連れてこられ，ひどい条件のもとで働かされた。

1944 年になるとアメリカ軍は，日本の都市を**空襲（くうしゅう）**した。⇒小学生は農村に〔　　　　　〕　**疎開（そかい）**

65

戦争の終結

●イタリア・ドイツの降伏

1943 年,〔　　　　　　　　〕が連合国に降伏。　**イタリア**

優勢だったドイツもスターリングラードの戦いで〔　　　　　　〕に敗北後は後退。　**ソ連**

連合国軍は 1944 年〔　　　　　　　〕に上陸してパリを解放。　**フランス**

東西から攻めこまれた〔　　　　　　〕は，1945 年ヒトラーが自殺して 5 月に降伏。　**ドイツ**

●原爆投下と日本の降伏

日本は 1942 年の中ごろまでには，東南アジア一帯を占領。

しかしアメリカの反撃が強まり，6 月ミッドウェー海戦で敗れ，戦局は悪化する。

1945 年 3 月，アメリカ軍は〔　　　　　〕に上陸。本土への空襲も強まる。　**沖縄**

ドイツ降伏後，アメリカ，イギリス，中国の名で，日本に無条件降伏を求める。

⇒〔　　　　　　　　〕**宣言**。　**ポツダム**

アメリカは**原子爆弾（げんしばくだん）**を 8 月 6 日〔　　　　　〕に，9 日〔　　　　　〕に投下した。　**広島，長崎**

この間,〔　　　　　〕も日ソ中立条約を破って参戦。8 月 15 日，日本降伏。　**ソ連**

66

占領と日本の民主化

●占領と諸改革

日本が降伏すると，アメリカを中心とする連合国軍が日本を〔　　　　　〕した。 占領

アメリカの〔　　　　　　　　　　〕を最高司令官とする連合国軍総司令部(GHQ)は，日本政府に指令を出し，〔　　　　　〕を解散し，戦争の責任者を処罰した。天皇は，神の子孫であることを否定する「〔　　　　　〕宣言」を出した。 マッカーサー 軍隊 人間

治安維持法が廃止され，政党も結成され，選挙権も 20 歳以上のすべての〔　　　　〕に与えられた。また労働者の団結と労働組合を組織することも認められた。 男女

経済面では，日本経済を支配していた〔　　　　　〕が解体された。農村では**農地改革**が行われて地主制が否定され，多くの小作人が〔　　　　　〕農になった。 財閥(ざいばつ) 自作

●日本国憲法の制定

民主化をめざす改革の中心だった憲法が 1946 年 11 月 3 日公布された。⇒**日本国憲法**

新しい〔　　　　　　〕憲法と，大日本帝国憲法との大きなちがいは， 日本国

① 主権が〔　　　　　〕にある(**国民主権**) 国民

② 国民の〔　　　　　　　　　　〕を尊重する(**基本的人権の尊重**) 基本的人権

③ 〔　　　　　〕を永久に行わない，そのための戦力をもたない(**平和主義**) 戦争

天皇の地位は，日本国および国民統合の〔　　　　　〕である，と定められた。 象徴(しょうちょう)

政府が任命していた都道府県知事は，住民の〔　　　　　〕選挙で選ばれることになった。教育勅語(ちょくご)が廃止され，教育の機会均等や男女共学をうたった**教育基本法**ができた。 直接

67

２つの世界とアジア

●国際連合と冷戦

1945 年 10 月，戦後の平和を維持する機関として，〔　　　　　　〕がつくられた。 国際連合

戦後の世界は，**アメリカを中心とする**〔　　　　　〕**主義国と，ソ連を中心とする社会主義国に分かれて対立**し，〔　　　　　〕戦争(**冷戦**)とよばれる緊張がつづいた。 資本 冷たい

⇒ドイツは，東西に分かれた分断国家となった。

⇒アメリカ，ソ連の軍事兵器の開発競争を生み，〔　　　　〕戦争への危険が高まった。 核

●植民地の解放とアジア

第二次世界大戦後，長い間欧米の植民地だった**アジア・アフリカ諸国が次々に独立**。

中国では，1949 年に毛沢東が率いる共産党が政権をとり，**中華人民共和国**が成立。

朝鮮は植民地から解放されたが，北緯 38 度線を境にアメリカとソ連に占領され，南の〔　　　　　　　〕と北の朝鮮民主主義人民共和国の２国ができる。 大韓民国(だいかんみんこく)

●朝鮮戦争

1950 年 6 月，北朝鮮軍が 38 度線をこえたため〔　　　　　〕戦争が始まった。 朝鮮

戦争は，アメリカ軍を中心とする国連軍が韓国を，中国の義勇軍が北朝鮮を支援した。

激しい戦闘の末，1953 年に休戦協定が結ばれた。

朝鮮戦争の際，GHQは日本政府に〔　　　　〕予備隊(のちの**自衛隊**(じえいたい))をつくらせた。 警察

日本は軍事物資などの生産を引き受けて好景気となり，経済復興が進んだ。⇒特需(とくじゅ)

68

日本の独立と安全保障

●平和条約

1951年サンフランシスコで講和会議が開かれ，日本はアメリカなど48か国と**平和条約を結び独立を回復**した。　⇒〔　　　　　　　　　　〕条約

同時にアメリカとの間に〔　　　　　　　　　〕**条約(安保条約)**が結ばれ，国内にアメリカ軍の〔　　　　〕をおくことを認めた。

●国際連合への加盟

1956年に，ソ連と〔　　　　　　〕宣言に調印。この結果，ソ連の支持も得て，同年，日本は〔　　　　　〕に加盟，国際社会に復帰することになった。

サンフランシスコ平和
日米安全保障
基地
日ソ共同
国際連合

69

国際社会と日本

●高度経済成長のなかの日本

1950年代の中ごろから，20年近くにわたり経済は急成長した。

⇒〔　　　　　　　〕成長

経済成長は人口の都市集中(過密)と農村の〔　　　　〕化を生み，また大気汚染(おせん)や河川・海の汚(よご)れなど〔　　　　〕問題が発生。

⇒水俣(みなまた)病，四日市ぜんそく，イタイイタイ病など

1960年　新しい日米安全保障条約を結ぶ。　⇒このとき大規模な反政府運動がおきた。

1965年　日韓基本条約を結び，〔　　　　〕を朝鮮半島の合法的な政府として承認。

1972年　アメリカの施政権下にあった〔　　　　〕**が日本へ復帰**。基地問題が残る。

1972年　日中共同声明を発表し〔　　　　〕と国交回復。⇒1978年日中平和友好条約

1973年　第四次中東戦争による〔　　　　〕**危機**で，世界経済は大きな打撃を受ける。

高度経済
過疎(かそ)
公害
韓国(大韓民国)
沖縄
中国
石油

●現代の日本と世界

日本では，石油危機以後，安定成長の時代がつづいたが，1980年代後半，企業の資金が株式や土地に投資され，株価や〔　　　　〕の価格が大はばに上昇した。

⇒〔　　　　　〕経済

90年代になるとバブルは崩壊(ほうかい)し，経済が停滞し，企業倒産，失業者も増え不況になった。

世界でのきびしい東西対立は70年代にゆるみはじめ，**緊張緩和(かんわ)(デタント)**の状態がつづいた。

日本は1975年以降，〔　　　　　　〕(主要国首脳会議)のメンバーに加わる。

1989年～1991年　**東ヨーロッパ諸国の民主化**，**東西ドイツの統一**，〔　　　　〕**の解体によって，冷戦が終わった。**

現代世界では，先進工業国と発展途上国の経済的格差(〔　　　　〕**問題**)を解消するための先進工業国の援助が必要となっている。

⇒**日本は，現在世界有数の援助国**である。

地球全体の自然環境破壊も深刻化。　⇒強い経済力をもつ日本の役割が期待されている。

⇒熱帯林など森林の減少，砂ばく化，オゾン層の破壊，，地球の温暖化を防ぐCO_2削減の問題など

土地
バブル
サミット
ソ連
南北